

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 木材利用推進・林業支援担当
 内線: 4320 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B39	都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業		一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	令和元年度～令和5年度	根拠法令	森林・林業基本法、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律		針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1203 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	SDGsゴール	11, 12, 15 SDGsターゲット 11-a, 12-8, 15-1,
1 事業概要	川上から川下まで県産木材を利用しやすい環境を整備し、市町村等が取り組む木造公共施設整備を支援することで、県産木材の利用拡大を図り、森林の循環利用を促進する。 木造建築情報発信事業 委託料の入札差金、新型コロナウイルスの影響で補助金の要望が当初の見込みを下回ったこと等による減額 △2,935千円		5 事業説明 (1)事業内容 ア 木造建築情報発信事業 14,973千円 木造建築技術アドバイザー制度運営及び木造建築に関する情報発信等 イ 木造建築技術者等育成事業 2,922千円 木造建築技術者講習会の運営支援、市町村等の非住宅木造建築物の設計業務支援 (2)事業計画 ア 木造建築情報発信事業 (ア) 木造建築技術アドバイザー制度運営 木造建築技術相談窓口の設置、木造建築技術アドバイザーの派遣、地域の木材情報収集及び木造建築関係者間の調整業務 (イ) 県産木材利用の理解促進 ① 地域の木材情報調査・発信・配布 ② 木材利用促進活動の実施・普及啓発に対する支援 (ウ) 新技術、新工法等の紹介・普及 一般流通材、新しい耐火部材、CLT等の新技術、新工法等の講習会開催 (エ) 県産木材の利用環境整備 ① 市町村、設計者、木材産業関係者等の連携促進 ② JAS製材品の普及促進 ③ 木製品展示会に係る負担金 ④ 「さいたま県産木材認証制度」の運営や研修等に係る経費の助成 イ 木造建築技術者等育成事業 (イ) 市町村担当者等向け木造建築技術講習会 市町村等における木造建築技術者育成支援 (イ) 事務費 (3)事業効果 県産木材の供給量 令和元年度：97,000m ³ → 令和7年度：116,000m ³ (4)補正予算の概要 委託料の入札差金、新型コロナウイルスの影響で補助金の要望が当初の見込みを下回ったこと等による減額					
2 事業主体及び負担区分	ア(ア)、(イ)①、(ウ)、(エ)①②③(県10/10) ア(イ)②(県4/10)事業者6/10、(エ)④(県1/2)事業者1/2 イ (県10/10)							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3.5人=33,250千円							
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△2,935	繰入金	△2,935				0	14,960
現計額	17,895		17,895				0	

事業内訳書

事業名	都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業		
単位事業名	木造建築情報発信事業	予算額	△ 2,935千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△39	—	市町村との打合せの減
需用費	△27	—	事務費削減による事務用品等消耗品、ガソリン代、コピー代の減
役務費	△35	—	事務費削減による切手代の減
委託料	△2,220	—	入札差金
負担金、補助及び交付金	△614	—	新型コロナウイルス感染症の影響で補助金の要望が当初の見込みを下回ったこと等による減額
合計	△2,935	—	